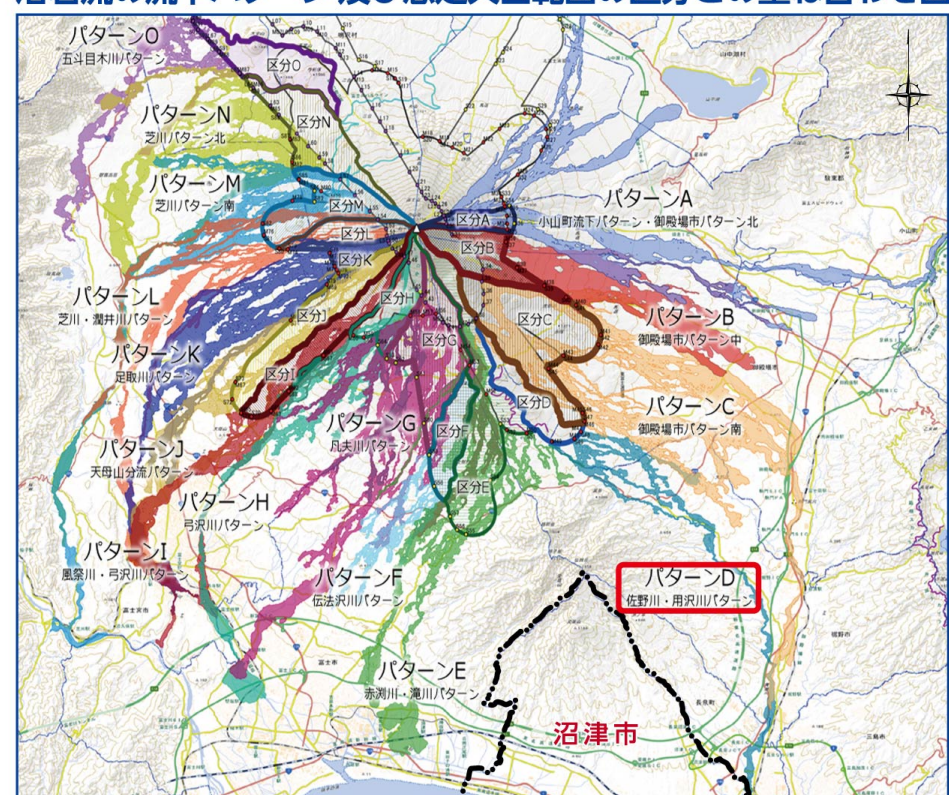


■ 溶岩流の火口位置の特定が困難である場合の対応について

※1 溶岩流の流下パターン及び想定火口範囲の区分との重ね合わせ図



■ 溶岩流の流下パターンについて

噴火開始直後において、夜間や天候によっては、火口の詳細な位置を即座に特定できない場合が想定されますが、溶岩流が早く到達するエリア(24時間以内)は、避難の迅速性を確保する必要があります。溶岩流の到達が想定される前の段階において、幅広い範囲の想定火口から、ある程度の溶岩流の流下を推定し、避難指示を出すための目安として作られたものが、左図の溶岩流の流下パターンです。

■ 沼津市に影響する流下パターン

溶岩流の流下パターンをA～Oの15のパターンに分けた中で、沼津市に24時間以内に影響する流下パターンはDの1パターンとして示されています。

沼津市の第4次避難対象エリアの避難指示は、この流下パターンの状況を考慮して行います。

計算開始点	溶岩流流下パターン(24時間到達範囲)	想定火口範囲の区分
● 大規模噴火の想定火口位置	● 流下パターンA	■ 区分A
● 中規模噴火の想定火口位置	● 流下パターンB	■ 区分B
● 小規模噴火の想定火口位置	● 流下パターンC	■ 区分C
	● 流下パターンD	■ 区分D
	● 流下パターンE	■ 区分E
	● 流下パターンF	■ 区分F
	● 流下パターンG	■ 区分G
	● 流下パターンH	■ 区分H
	● 流下パターンI	■ 区分I
	● 流下パターンJ	■ 区分J
	● 流下パターンK	■ 区分K
	● 流下パターンL	■ 区分L
	● 流下パターンM	■ 区分M
	● 流下パターンN	■ 区分N
	● 流下パターンO	■ 区分O

- ※1 流下範囲は24時間以内に到達する可能性のある範囲を指す。
- ※2 全ての流下パターンを重ね合わせた図であり、実噴火時に、一度にここで示された範囲の全てが影響するわけではない。

■ 沼津市に流れ出る可能性のある溶岩流の時間的な推移について

(注) 各計算開始点の溶岩流ドリルマップを重ね合わせた図で、一度の噴火でここに示された範囲の全てに溶岩流の危険が生じるわけではありません。

■ 噴火規模について

富士山の火口は、過去に噴火した火口を基に想定した火口範囲を大規模噴火・中規模噴火・小規模噴火ごとに設定されています。

■ 沼津市に影響する火口について

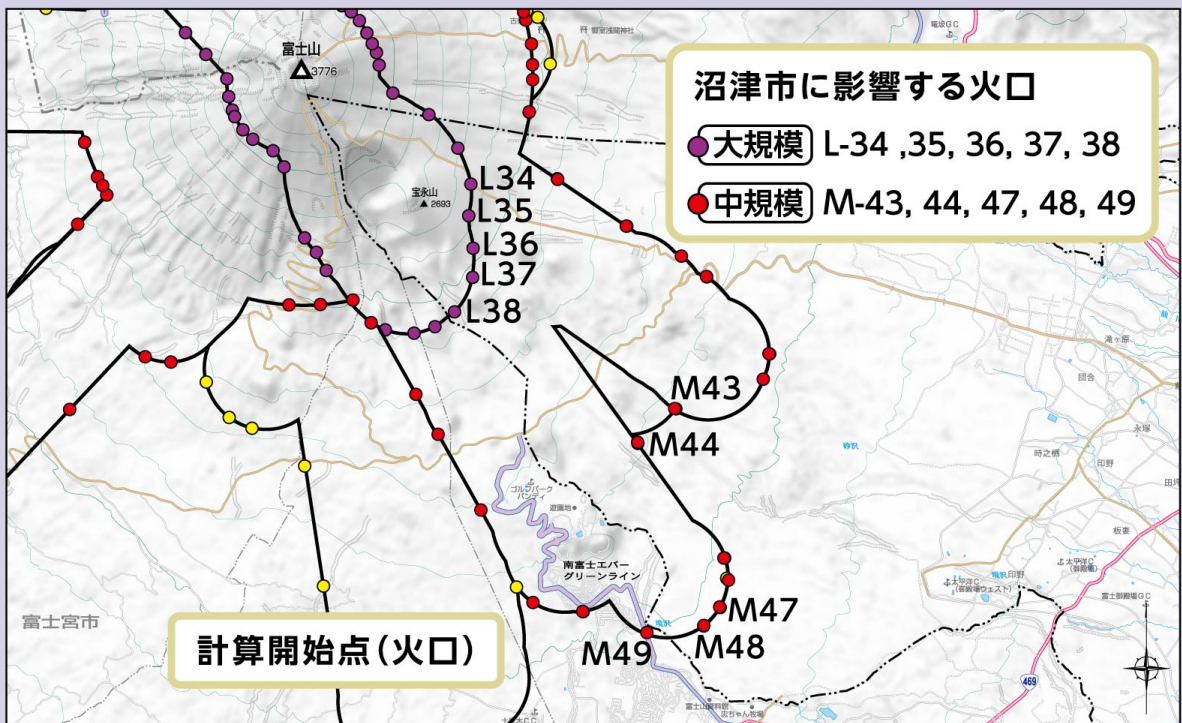
噴火による溶岩流が発生した場合、その計算開始点(火口)は、全部で252点設定されていますが、そのうち、沼津市に影響のあるものは、10点と想定されています。この10点から流れ出る溶岩流を大規模噴火と中規模噴火ごとに重ね合わせ、時間的な推移を表したものが右図及び右下図(溶岩流のドリルマップ)となります。

■ 溶岩流の到達時間

沼津市への溶岩流は、大規模噴火の場合で7日～最大で57日間、中規模噴火の場合で18時間～7日に到達する想定となっており、小規模噴火の場合は到達が見込まれていません。

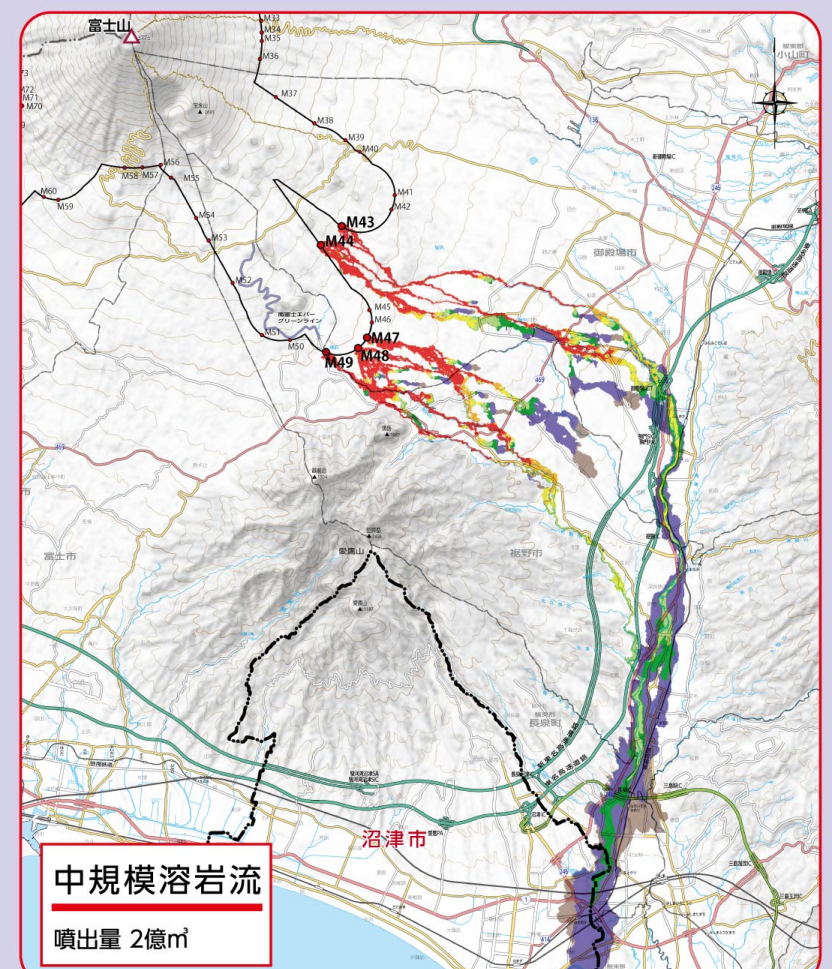
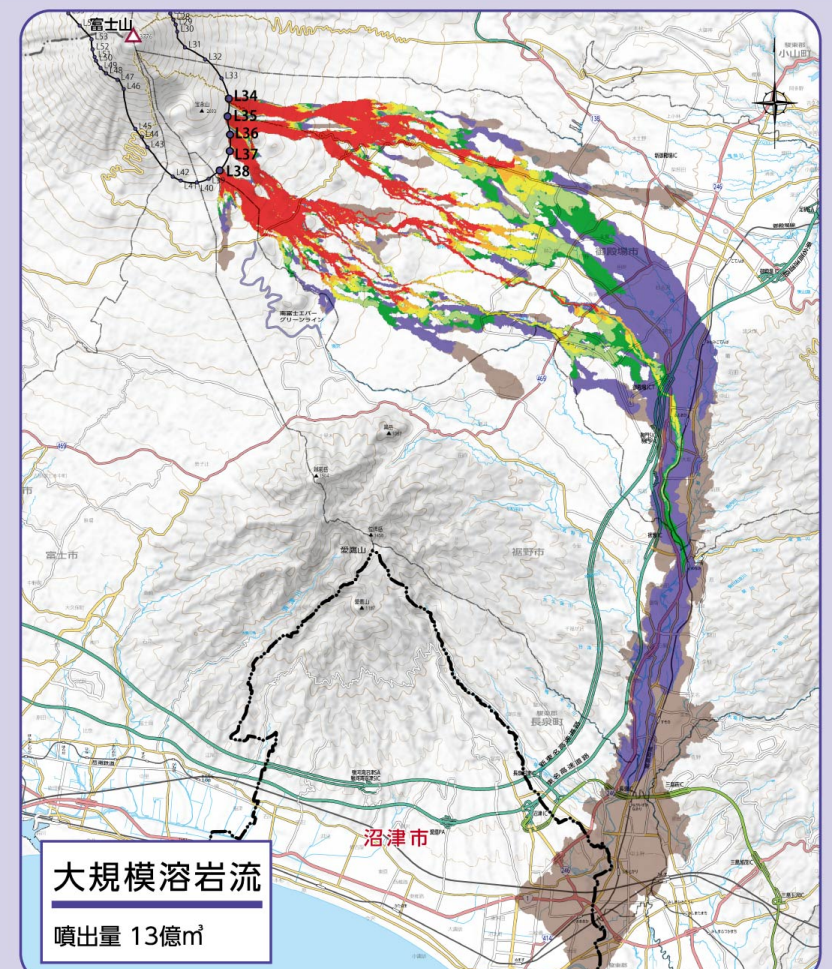
■ 避難について

沼津市に到達する可能性のある溶岩流は、火口位置によって影響が及ぶ範囲が異なるとともに、到達最短時間は、18時間後となる見込みであることから、避難については、沼津市からの情報に注視し落ち着いて対応しましょう。



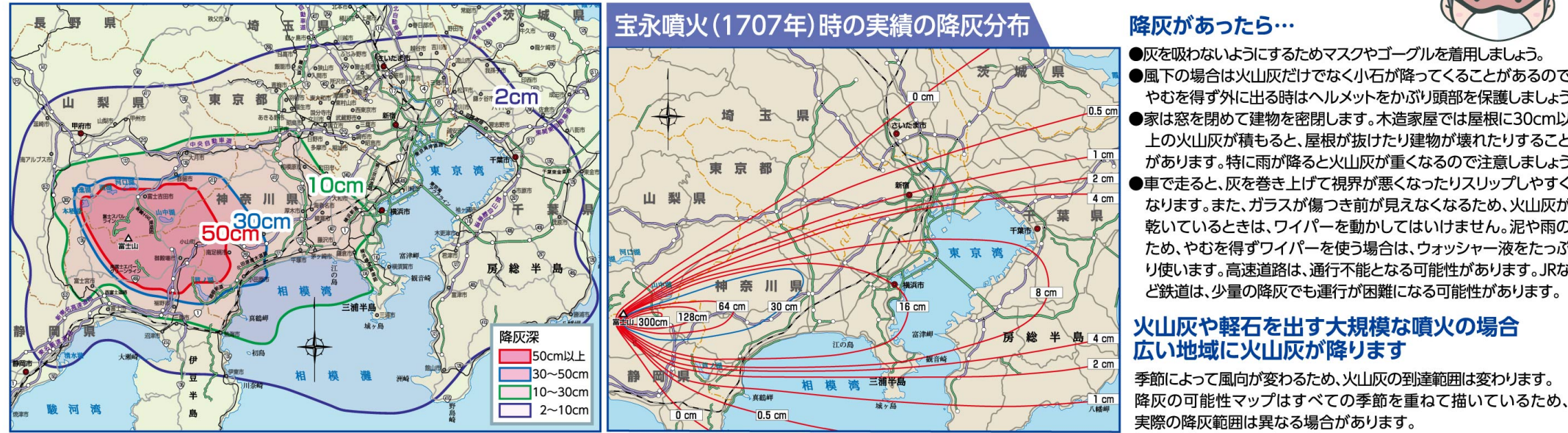
凡例	想定火口範囲	到達可能性
● 大規模計算開始点	● 大規模計算開始点	溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
● 中規模計算開始点	● 中規模計算開始点	溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
● 小規模計算開始点	● 小規模計算開始点	溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
		溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
		溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
		溶岩流が7日で到達する可能性がある範囲
		溶岩流が最終的(最大で57日間)に到達する可能性がある範囲

※計算開始点から各規模噴火の溶岩流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で噴火が発生した場合は、異なる結果となります。



小規模噴火の場合、沼津市への溶岩流の影響は想定されていません。

■ 降灰の可能性マップ



■ 沼津市の避難について

■ 沼津市への影響

沼津市に影響を及ぼす主な噴火現象は、「溶岩流」と「降灰」です。

溶岩流
噴火口位置や規模によっては、沼津市まで到達しない想定であるとともに、沼津市への溶岩流の到達最短時間は18時間後を見込んでいるため、富士山の火山活動の高まりが生じた場合は、沼津市からの避難指示情報に注視し、落ち着いて対応してください。

降灰
沼津市内は2～10cmの堆積が想定されていますが、風向きや風速により降灰範囲が変わります。沼津市への降灰が少ない場合でも、火山灰の影響により、停電や断水等の発生の可能性も考えられるため、非常用の備蓄品の用意をしてください。

■ 避難について

- 溶岩流**
 - 溶岩流の流下範囲外にある避難場所や親戚及びご家族宅、宿泊施設等に避難してください。
 - 避難手段は、徒歩を基本としますが、避難行動要支援者の避難や噴火警戒レベル1～3である時は、必要に応じ車向で避難してください。
 - 避難する場合に備え、非常時用の備蓄品の用意をしておきましょう。
- 降灰**
 - 降灰そのものを原因として直ちに生命に危険が及ぶことはないため、原則として、自宅での屋内避難とし、窓を閉め建物を密閉してください。
 - 屋内の避難に備えて、備蓄品を用意しておきましょう。

■ 防災情報及び避難情報の入手先

災害発生危険性が高まっている時、また災害発生時には、市や消防、警察、報道機関などから流れる正しい情報を入手しましょう。



■ 非常用持ち出し品・非常用備蓄品 準備できたもの☑を入れて

避難するときに持ち出す「非常持ち出し品」(必要最小限のもの)と、災害から復旧するまでの数日間を支える「非常用備蓄品」に分けて用意しましょう。

- 飲料水・生活用水**
 - 7日分の飲料水の備蓄 (1人×3リットル×7日)
 - 生活用水
 - 水筒
- 食料品等**
 - 7日分の食料の備蓄
 - レトルト食品
 - 缶詰
 - おやつ
 - 紙コップ
 - ラップ
 - 簡易食器
 - 箸
 - 缶切り/ナイフ
 - 粉ミルク
- 停電への備え**
 - 予備の電池
 - 懐中電灯(大型/小型)
- 医薬品等**
 - 救急用品 (消毒液、傷薬、ガーゼ、包帯、ばんそうこう)
 - 常備薬
 - カット綿
 - はさみ
 - ピンセット
 - 使い捨てカイロ
 - 体温計
- 情報**
 - 携帯電話・充電器
 - ポータブルラジオ
 - モバイルバッテリー
- 燃料の備え**
 - 卓上カセットコンロ
 - ポンペ
 - 固形燃料
- その他 必要なもの**
 - ヘルメット
 - ゴーグル
 - ライター
 - ローソク
 - 寝袋
 - ガムテープ
 - 筆記具・マーカーペン
 - 新聞紙
 - ロープ
 - 笛
- 衣類等・衛生用品**
 - 衣類
 - タオル
 - ティッシュ
 - マスク
 - 軍手
 - ゴミ袋
 - ウェットティッシュ
 - 除菌シート
 - 生理用品
 - 紙おむつ
 - 簡易トイレ
 - トイレ用ペーパー
 - 歯磨き用品
- 非常用持ち出し品のポイント**
 - 家族全員が目につきやすい場所に置き、すぐに持ち出しやすいようにしましょう。
 - 家族構成等を考えて、必要な分だけ用意しましょう。欲張りすぎると、避難が大変になります。
 - ラジオは、正しい情報を得るために必要です。予備の電池は多めに用意しておきましょう。

■ 家族に安否を知らせるために...

災害用伝言ダイヤル (171)

大規模な災害が発生した時に被災地域内やその他の地域の方々との間で「声の伝言板」の役割を果たすシステムです。「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。

伝言の録音方法
171→1
音声ガイダンスに従ってください。

伝言を入れる (30秒以内)
055-■■■■-■■■■
被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法
171→2
音声ガイダンスに従ってください。

伝言を聞く
055-■■■■-■■■■
被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

災害用伝言板 (web171)

インターネットを利用した安否確認の伝言板です。パソコンやスマートフォン、携帯電話等で利用できます。

利用方法
web171へアクセス
https://www.web171.jp

被災地の人の電話番号を市外局番から入力

伝言を登録・確認

防災機関の連絡先

- 富士山からの水蒸気や火山灰の噴出、地鳴り・鳴動などの異常現象が見つかったら、すぐ下記に連絡してください。
- 静岡県地方気象台 (24時間対応) 0570-015-024
- 沼津市役所 (代表) 055-931-2500
- 沼津市役所 (危機管理課) 055-934-4803
- 本防災マップに関する問合せ先
- 沼津市 危機管理課
〒410-8601
静岡県沼津市御幸町 16-1
電話: 055-934-4803
ファクス: 055-934-0027